

1979 年 7 月 新橋演舞場

『松竹新喜劇公演』主な配役

【昼の部】

一、女客万来

蒸発した夫北川(沢田光生) その妻芳子(林千恵) テレビ局員阿部(里見たかし) 同牧野(服部哲治) 同甲(木曾川満) 同乙(梓太郎) 同丙(足立昌嗣) ディレクター吉川(金乃成樹) 北川の愛人モモエ(田代博子) プロデューサー伊丹(守田秀郎) アシスタントディレクター菅野(宮路拓也) パワーのダンサーA(生島康子) 同 B(秋葉陽子) 同 C(中根里美) チョンマゲ姿の男(筑紫信幸) 菅野の恋人美樹(青葉寿々代) 局長白井(伊吹聡吾朗) 香川美智子(大津十詩子) 事務員松本(松田寛) タレントオスジ(鶴見寛太郎) 同ピーマン(羽根田竜美) 製薬会社社長日高(八木五文楽) その妻安江(双葉弘子) 金子幸夫(小島慶四郎) 金子の付き人道野(曾我廼家文童) 女性ファン(井上恵美子・岡本佐智子・金山万美子) ホステス風の女真由美(滝由女路) 金子の幼友達伊津子(岸本康子) 芸妓静丸(佐久良国子) 梅川保(渋谷天笑)

二、おやじの女

藤一郎の妹やす子(月城小夜子) その友人美代子(滝由女路) 同たみ子(御園恵美子) 同真知子(青葉寿々代) 同君江(田代博子) 藤一郎の母つる(滝見すが子) 近所の主婦わか子(岸本康子) 同糸子(羽衣美沙代) 半助の妻くみ子(御陵多栄子) 知人佐々木(東光男) 三味線ひき野沢半助(藤山寛美) 人形つかい紋々(喜多康樹) 会社員若葉藤一郎(中川雅夫) その妻はつ子(四条栄美) 伊勢吉の主人吉造(長谷川稔 興行会社社長大隈(伴心平) 花村よね(酒井光子) 警官宮本(曾我廼家五九郎) 町内の人林(伊吹聡吾朗) 同竹本(金乃成樹)

三、阿呆と夏祭

将棋会館の主人三郎兵衛(花和幸助) いかけ屋松五郎(曾我廼家五九郎) 丁稚長吉(梓太郎) 隠居孫右衛門(長谷川稔) 八百屋半兵衛(沢田光生) 若旦那忠兵衛(宮路拓也) 髪結い五郎七(鶴見寛太郎) 大鳥屋の番頭善六(金乃成樹) 社務所の男佐助(里見たかし) 大工六三(服部哲治) 義平次の子分弥十(曾我廼家文童) 同権八(渋谷天笑) 魚屋団七(藤山寛美) 虫売り徳兵衛(八木五文楽) 長屋女房おとら(御陵多栄子) 同おくま(岸本康子) 徳兵衛の娘おきく(月城小夜子) 団七の女房おかじ(大津十詩子) おかじの知人おしか(佐久良国子) 同おたね(林千恵) 見廻り役人堤藤内(伊吹聡吾朗) その配下紋太(松田寛) 両替商大鳥屋佐賀右衛門(伴心平) その女房おうら(滝見すが子) 同娘おこと(滝由女路) 顔役三河屋義平次(小島慶四郎) 井筒の仲居おはつ(羽衣美沙代) 同女房おえん(双葉弘子) 城代の奥方お亀の方(酒井光子) 腰元朝顔(四条栄美) 同夕月(御園恵美子) 神官綾麿(東光男) 証言作者並木正三(守田秀郎) 歌舞伎役者嵐磯之丞(中川雅夫) 同坂東玉四郎(喜多康樹) 町娘お染(生島康子) 同お花(田代博子) 同お七(中根里美) 同お糸(青葉寿々代) 巫女あずさ(秋葉陽子) 祭りの若い衆(羽根田竜美・木曾川満) 通行の人(足立昌嗣・筑紫信幸・井上恵美子・岡本佐智子・金山万美子) 他、祭りの若い衆、通行の人多ぜい

【夜の部】

一、恋愛クロスワード

舞台制作係芦田(金乃成樹) 同村井(喜多康樹) 同石山(渋谷天笑) 同川谷(松田寛) 同西田(鶴見寛太郎) 同チーフ舟越(守田秀郎) 向井真一(曾我廼家文童) その新妻明子(御園恵美子) 男優良之助(東光男) 同釜太郎(曾我廼家五九郎) 同長助(服部哲治) 女優ひろみ(青葉寿々代) 同信子(生島康子) 同由紀(田代博子) 同富子(秋葉陽子) 同邦子(林千恵) 同英子(中根里美) 男優 A(梓太郎) 演出家村上(八木五文楽) 演出助手大矢(里見たかし) 舞台監督丸山(宮路拓也) 女優すま子(岸本康子) 老優角田(長谷川稔) 向井の妹桂子(滝由女路) 照明係町田(沢田光生) 同 A(羽根田竜美) 同 B(木曾川満) 女流作家美沙地晴子(羽衣美沙代) その夫恵介(伊吹聡吾朗)

二、大和の詩

新婚の夫健二(宮路拓也) 同妻礼子(滝由女路) 僧侶公然(沢田光生) 同正円(松田寛) 寺務所の人宗井(羽根田竜美) 孝一の妹タマコ(月城小夜子) タマコの友人利子(御園恵美子) 利子の母良枝(佐久良国子) 土産物店主人清水孝一(藤山寛美) 寮長大野木(東光男) 施設の指導員佐山(服部哲治) 同寮母由利子(大津十詩子) 同邦子(生島康子) 観光客 A(青葉寿々代) 同 B(林千恵) 問屋の人高橋(鶴見寛太郎) 孝一の父新造(伴心平) 医師今川(喜多康樹) 近所の主婦益子(御陵多栄子) 新造の妹末子(滝見すが子) その夫田西(金乃成樹) 真山サキ(酒井光子) 孝一の弟純二(小島慶四郎) 純二の妻友江(四条栄美) その弟達夫(中川雅夫) 安原武三(花和幸助) その妻市子(双葉弘子) 南田芳三(伊吹聡吾朗) 寺務所の人太田(曾我廼家五九郎) 近所の人中本(里見たかし) 同美代子(田代博子) 看護婦(秋葉陽子) 利子の父戸村(長谷川稔) 観光客(中根里美・井上恵美子・岡本佐智子・金山万美子・梓太郎・木曾川満・足立昌嗣・筑紫信幸) 他、親類の人の多ぜい

三、お種と仙太郎

住吉講世話方松吉(沢田光生) 講中の人おえん(岸本康子) 同お吉(佐久良国子) 参詣の男伊助(守田秀郎) その女房お時(御陵多栄子) 新町の太鼓持豆八(喜多康樹) 大阪の旦那浪花屋助右衛門(八木五文楽) 江戸の客江戸屋善九郎(曾我廼家五九郎) 新町の芸者梅吉(滝由女路) 同小万(御園恵美子) 同春駒(生島康子) 同菊丸(青葉寿々代) 仲居お浅(羽衣美沙代) お岩の倅仙太郎(曾我廼家文童) その女房お種(四条栄美) 住吉神社仕丁太吉(小島慶四郎) 木津屋のご寮さんお徳(酒井光子) その息子新之助(渋谷天笑) その新妻お初(田代博子) 茶店の女主人お岩(藤山寛美) 知り合いの人お富(滝見すが子) その亭主佐吉(長谷川稔) 丹波屋清兵衛(伴心平) その女房おぬい(双葉弘子) お種の姉お兼(大津十詩子) その息子清二郎(中川雅夫) その若妻お久(月城小夜子) 丹波屋手代万吉(宮路拓也) 講中の人(林千恵・井上恵美子・岡本佐智子・金山万美子・松田寛・梓太郎・木曾川満・足立昌嗣・筑紫信幸) 参詣の人(秋葉陽子・中根里美・羽根田竜美・鶴見寛太郎)